

2025 年度（令和 7 年度） 自己評価結果公表シート

自令和 7 年 4 月 1 日～至令和 8 年 3 月 31 日

学校法人 敬愛学園
岸部敬愛幼稚園

1. 本園の教育目標

教育の目的は、立派な人格を持った人間を育成することです。そして、人格の基礎は幼児期に形成されます。岸部敬愛幼稚園は幼稚園指導要領と、浄土真宗の生活信条、そして親鸞聖人の精神にもとづき、すなおで明るく、やさしく、元気のよい、ほとけの子どもを育てます。

- ★ほとけさまを拝む、明るくて豊かな心を持った子ども
- ★健康で、心身ともに活動的な子ども
- ★お友だちと仲良くあそび、だれからも愛される子ども
- ★「ありがとう」と、すなおによろこび、たたえる子ども
- ★よく聞く態度と、理解力、創造力をもった子ども

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

教育目標に沿った保育をすすめていくうえで、教師が意図的に展開した環境のもと、園児の主体的な関わりを軸とした保育を実施し、以て園児自身が自ら育つことができるように実行していくこととする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
教育課程の実践にあたり教員個々の共通理解を図る。	日頃より全教職員で積極的に意見交換をし、個々の見解と実践が相違しないようにする。建学の精神（園児、保護者、保育者が共に育ち合う）も常に意識し保育にあたる、
幼稚園を取り巻く状況をふまえて、今後の計画を立てる。	急激な少子化、保護者ニーズの多様化、A I の普及、労働意識の変化、異常気象など幼稚園を取り巻く社会状況が変化しつつある中であって、本園がどのようにそれらの変化に対応し得るか、子どもの育ちを軸として教職員間で検討する。
教職員の資質向上	園内研修はもちろん園外研修にも積極的に参加する。また人権・発達・心療・マネジメントなど多角的な研修を受講し教職員個々の資質向上に努める。
危機・安全管理を図る	本園で作成した危機管理マニュアルや学校安全計画をもとに、園児達が安心安全に園生活を送れるよう細心の注意を払う。
教職員の労務管理をする	時間外労働時間が月平均数時間程度と理想的な労働環境が実践できているので引き続き継続していく。
園児一人ひとりの成長・発達を見守る	保護者との懇談機会を設け、時には他機関との連携を図り保育を実践していく。また、子どもの発達に関する研修会に意欲的に参加するなどして教職員の資質向上にあたる。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について教職員一人ひとりが共通に理解し、教員相互に意見交換をすることで教育目標の達成について概ね成果を上げる事ができたと考える。経験年数の多少に関わらず相互に助け合いながら業務に当たることができ、子どもの育ちを健全に推進していく立場として大変良かったと評価する。保護者に向けては、SNS 配信やアプリのメール機能を活用した情報発信で保育内容を伝えていくことや、行事参加で保育の様子を垣間見ていただくことができた。気になる園児の保護者には個別相談や専門機関との連携などで、保護者と園が両輪となって園児の育ちを支えていくことを心掛けた。今後も建学の精神を忘れずに、園児・保護者・保育者が互いに成長し合える為の努力を継続して重ねていきたいと思う。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
教員の資質向上	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿についての学びを継続して重ねていくこと。その為に、子どもの主体性を育む環境構成や言葉かけについて実践していく。
危機・安全管理体制	大災害を想定した様々な準備（引渡し訓練、災害備蓄品、マニュアル）の定期的な実施と見直しをする。また、ハザードとリスク行動の存在を常に意識し、危機管理サイクル（目的・目標・手段・検証）を丁寧に点検していく。
園環境の改善	敷地・園舎内の危険箇所を見つけ必要であれば直ちに改善する。また経年劣化が疑われる設備等については適宜改善していく。その際は園児にとって安全な環境となるよう心掛ける
保護者への情報発信	出来るだけ幼稚園の情報を発信し保護者に伝えていく ＊れんらくアプリ、SNSの活用 ＊園だより、クラスだよりでの情報発信 ＊個人懇談会での意見交換 ＊その他
支援を必要とする幼児の保育	幼児個々に応じた個別の指導計画を作成し、医療・福祉関係機関との連携を図りつつ保護者とも情報交換を重ねながら、幼児一人ひとりに沿った支援を継続していけるようにする。
熱中症対策	暑さ指数（WBGT）を常に把握するよう心掛け、保育室内や園庭での保育で園児や教職員が熱中症とならないよう対策する。万が一、熱中症が疑われる症状が現れた場合は、適切な処置ができるよう日頃より知識を習得しておく

6・学校関係者の評価

登園を渋る園児もなく毎日園児達にとって魅力的な保育が行われているものと評価します。保育内容に工夫があり、園児達が楽しそうに保育に向かう姿を見ることができたことが良かった点です。園児達のことを第一に思って働く教職員の先生のおかげだと思います。熱中症リスク、園児一人ひとりの発達、建学の精神に基づく特色ある保育の維持、次々とやってくる行事など大変だと思うが、今後も引続き子ども達のために頑張っていただきたいです。少子化で園児数が徐々に減少していくなかで幼稚園経営は大変だと思われていますが、地域に必要とされる幼稚園として存在感を見せていただきたいと思います。

7. 財務状況

毎年、公認会計士の監査を受け、適正に運営されていると認められている。